

佐倉市・酒々井町 選出

千葉県議会議員

市民ネットワーク

川口 えみ 県政レポート



2025年1月発行



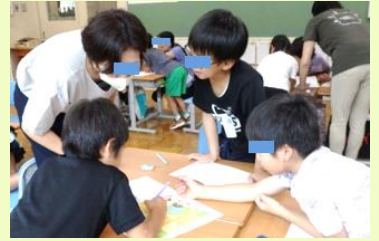
質問録画はこちら



11月26日 議会質問しました！自己肯定感をはぐくむ教育を

●管理教育からのびのび教育へ ～東成瀬村の教育を親子で体験～

「学力日本一の村」として有名な秋田県東成瀬村の夏休み親子短期チャレンジ留学に参加しました。東成瀬村は秋田県の南東の端にあり、冬は2mも雪が降る村です。訪れてみると、先生はじめ大人たちがとても優しく、自然体で、子どもたちを笑顔で見守っています。私の娘も「全然怒らないね」とびっくり。千葉県内の学校では、「掃除は喋らずやる・黙働」が数十年指導され、コロナ禍のときの給食は「黙食」など、我慢を強いられた子ども達。自己肯定感を育む伸びやかな教育で、学力も向上し不登校も減ると考えます。校則以外の明文化されないルールの見直しを強く求めました。



話し合いながら課題解決する「探求型授業」を、親子で体験しました。

●セーフティネットの充実を

住居のない困窮者の緊急シェルター

設置は県内6市のみで佐倉市ありません(町村は県設置)。市に設置を促すとともに、民間団体への財政支援を訴えました。

困難な問題を抱える若年女性への支援

夜間見回り(アウトリーチ)やLINE相談、居場所の提供を8月から開始。船橋駅、津田沼駅、千葉中央公園などで、日用品や相談カード配布と悩み事相談をしています。

●PFASと自衛隊基地

7月に、県は周辺3市と、下総基地への立入調査を実施しましたが、「排水路の状況など不明」と答弁。しかし、10月の環境常任委員会で追及すると、「基地内の排水口が外部の水路と繋がっている」ことを認めました。直後、基地南東部で42000ng/L(暫定指針値の840倍)のPFASを検出。12月県議会で、住民の血液検査や土壌調査を求めました。

●学校での性暴力

学校で性暴力被害が起きたとき、教員が迅速・的確に対応できるよう、研修の充実や、わかりやすい「性暴力対応マニュアル」の作成を提案し、関係機関と連携して検討すると前向きな答弁を得ました。さらに、高校では性被害を防ぐための「デートDV予防講座」を、誰もが在学3年間に1度は受けられるよう求めました。

熊谷知事と意見交換

毎年恒例の熊谷知事との意見交換会を実施しました(県民20名参加)。

内容は、幕張メッセ武器見本市、自衛隊 PFAS 問題、避難所の空調設備、高校の「居場所カフェ」の継続など、13項目です。平行線となる項目もありますが、今後も知事との対話の機会を設け、市民の声を届けていきます。



13項目はこちら



川村記念美術館が移転

DIC川村記念美術館の存続を求めて多くの署名が集まり(12/9現在58131筆)、閉館は当初の1月から、3月下旬に延期されました。

10月の環境生活常任委員会で、存続に向けたサポートを県に要望。知事も「千葉県にとって貴重な文化遺産」と、存続を熱望しましたが、残念ながら、東京への移転が決まりました。



王子台の危険な道路

市民の方から、王子台の危険な道路について連絡があり、早速、市議と共に県警にヒアリングをしました。

問題の道路(赤線)は、水道道路への抜け道になっており、スピード規制はありません。(青い道路は30km規制)今後も改善を要望していきます。



〇先生の過労死裁判に参加して

2013年12月、佐倉市教育委員会の指導主事だった〇先生が、異常な業務集中の末、自ら命を絶たれました。2022年、遺族が佐倉市教育委員会を提訴。裁判では、当時の教育長のパワハラも指摘されています。千葉県の教員の人権と職場環境改善に向け、署名活動や裁判傍聴などに取り組んでいます。

次回裁判は3月11日(火)14時千葉地裁にて。



大規模・国際会議

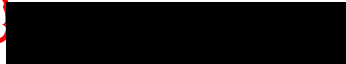
EXPO
9

4

4.8



食料危機



9

(12/14)

5

(12/30)

2 27

28

11 12

11 30

12

HP

18

CANS
(12/23)



DV

JR

(12/2)